



劇団ホチキスのご紹介

劇団ホチキスとは「感情デトックス演劇」“笑顔”と“涙”をつくる感動空間を創造するシアターカンパニーです。



1997年、愛知県立芸術大学の学生だった米山を中心に結成。2015年に劇団を法人化。2021年度で5期目になります。

【米山あいさつ】

一生のうちに人が笑う時間は平均22時間3分。また泣く時間は平均500日(女性で)という数字があります。平均寿命80年のうちで見れば少ない数字ですが、笑う、涙する時間は時として、人生を左右するくらい、重要な体験となる事もあります。

ホチキスは、その「笑い」と「涙」を体験する時間を造り出し、日常生活に癒しを。心の豊かさを。そして、人生を変えるかもしれないしさやかなで、大きな時間を提供できる作品づくりを心がけています。

観客をとことん楽しませる。演劇的冒険にあふれた作品を提供

老若男女が安心して楽しむ事ができる、広く大衆に受け入れられるエンターテインメントをめざし、政治的メッセージ、芸術的思想、人間の欲望や業といったものを極力表に出さず、軽妙で痛快、観終わると、心に温かな余韻が残る作品づくりを心がけています。**多くの人が楽しめる大衆性の強いエンターテインメントを発信し続け、演劇文化の裾野を拓げる事を目的として活動をつづけていきました。**また、舞台の持つ可能性に常に挑戦し続け、舞台ならではの演出手法で、観劇人口の裾野を広げることを目指しております。

■最近の作品

ホチキスvol.44「シカバネアイズ」

2021年 9/27(水)～10月3(日)
東京芸術劇場シアターウエスト
全5日間・9ステージ
コロナで中止となった公演を満を持して上演。
1,045人動員



ホチキスvol.43「月野木グラビティ」

2021年 6/4(金)～6月13(日)
吉祥寺シアター
全10日間・14ステージ 3,238人動員
町工場で働く父と出戻りの息子との交流と混乱を描いた意欲作
1,064人動員



ホチキスvol.42「銭に向け叫ぶ2020」

2020年 9/24(木)～10月4(日)
東京芸術劇場シアターアイースト
全10日間・15ステージ 観客席を半分にした状態で1,500人動員



ホチキスvol.40「ゴールデンレコード」

2019年 6/20(木)～6月30(日)
あうるすぽっぽ
全10日間・15ステージ 3,238人動員
近未来を舞台にした刑事達の物語。



劇団ホチキス主宰、脚本、演出を務めると共に、外部プロデュース公演の脚本・演出を多数こなす。オリジナル作品を積極的に執筆、ポップなエンターテイメント作品を創造しつづけている。



外部プロデュース公演

2021年

- 10月「春風外伝2021」脚本担当 @新国立劇場 中ホール
- 10月「スケートリーディングスター」脚本・演出担当 @品川ステラボール
- 8月「マジミリ学園 ラウドネス」脚本担当 @品川ステラボール
- 5月「流星セブン」脚本担当 @さくらホール
- 3月「マジミリ学園 菅」脚本担当 @銀河劇場
- 2月「ハンサムセンキヨ配信イベント」脚本演出担当 @ライブ配信

2020年

- 12月「サー・ヴァンプ」 @スペースゼロ
- 12月「ナイトメアホスピタル」 @草月ホール
- 11月ドラマ「ハンサムセンキヨ！」監督 @テレビ神奈川にて ONAIR
- 8月「アーサー王」演出担当 @シーターサンモール
- 6月「レイルウェイ2」脚本・演出担当 @草月ホール
- 1月「ダレンビジャーズ」演出担当 @六行会ホール
- 1月「宇宙戦艦ティラミス2」演出担当 @品川クラブEX・大阪
- 1月「のべつまくなし・改」脚本担当 @ハレザ池袋・他全国3都市

2019年

- 12月ブシプロ「BURAI2」脚本・演出担当 @あうるすばっと
- 12月LIVEDOOG「レディー アゴーゴー」脚本担当 @新宿村LIVE
- 7月「博多どんこつラー・メンズ」脚本・演出担当 @シーターサンモール
- 4月30DELUX「のべつまくなし！」脚本・演出担当 @サンシャイン劇場 他
- 3月ADKアーツ「バグバスターズ Stage yellow」脚本担当 @俳優座劇場
- 2月「レイルウェイ」脚本・演出担当 @スペースゼロ
- 1月「締め切り明けの探偵」脚本・演出担当 @浅草九劇

2018年

- 11月「スマーキードッグ」脚本・演出担当 @九段下サイエンスホール
- 10月「NEWライブ! レボリューション～スッポンボンで愛を!～」脚本担当 @品川クラブEX
- 9月「イケメン革命」脚本・演出担当 @スペースゼロ
- 7月「宇宙戦艦ティラミス」演出担当 @シーターサンモール他、岐阜、大阪
- 4月30DELUX×宇宙six「スクアッド」脚本・演出担当 @新国立劇場小ホール・近鉄アート館
- 3月ADKアーツ「バグバスターズ Stage Blue」脚本担当 @俳優座劇場
- 2月LIVEDOOG「レディー アゴーゴー」脚本担当 @新宿村LIVE

米山和仁(よねやまかずひと)

劇作家 脚本家 演出家 監督

劇団ホチキス主宰 Queen B 所属

愛知県立芸術大学在学中に劇団ホチキスを旗揚げ、同劇団代表。現在までの本公演43本、全ての脚本・演出を担当。

大手メーカー宣伝マンを11年務め、平面広告、TVCM、WEB広告など、多くの作品を作る。現代劇、時代劇、ミュージカル、アニメ・漫画原作の舞台化など、さまざまなジャンルを手がけるが、一貫して“笑い”を追求し、これでもかと笑いの要素を詰め込む作風を得意とする。

2020年テレビドラマ「ハンサムセンキヨ」で監督デビューを果たす。

劇団ホチキス本公演 全ての脚本 演出を担当

- 2022年「うらめしギ」
- 2021年「シカバネアイズ」
「月野木グラビティ」
- 2020年「銭に向け叫ぶ2020」
- 2019年「ゴールデンレコード」
- 2018年「ケルベロス」※脚本担当
「あちやらか～ねずみの唄は花火と共に～」
「妻らない極道たち」
- 2017年「PTA」
「あちやらか」
「ホチキスミュージアム」
- 2016年「DOCTOR～ヤバ医者大爆発～」
「HUNGRY～伝説との距離～」
「値千金のキャバレー」
「スパイ大迷惑」
- 2015年「逆鱗アンドロイド」
「砂利塚アソリミテッド」
- 2014年「ホチキス定食」「妻らない極道たち」「乾杯の戦士」
- 2013年「天才高校」「クリエイターズ☆ハイ」
- 2012年「クライシス百万馬力」
- 2011年「砂利塚アソリミテッド」「湯煙の頃に君を想う」
- 2010年「ボーナストーク」
- 2009年「いらない」「アルバトロス」
- 2008年「おわりのいろは」「PTA」
- 2007年「アナタタネワタシタメ」
- 2006年「佐々木の船」「鯉」
- 2005年「カモン」「殺し文句」
- 2004年「ハートロデオ」「親父とビーズと弾丸と」
- 2003年「脳とノート」「ベリーーベリーギブス」
- 2002年「ドライブユニコーン」「花道B.P.M.」
- 2001年「ギャング」「ショックトラックミステイク」
- 2000年「宇宙な男2000」
- 1999年「バーフェクトドラッグ」
- 1998年「アトム」「ライセンス」
- 1997年「のろし屋」

